

スーパーハイランドSE

省エネルギー型耐摩耗性スラッジレス作動油

スーパーハイランドSEは摩擦調整剤の配合により従来の鉱油系油圧作動油に比較して省エネルギー性に優れ、低圧から高圧に至るまでの各種油圧ポンプ・モーターに適した油圧作動油です。スーパーハイランドSEは高度精製基油を採用し、また新しい無灰系添加剤を使用しているため、スラッジの生成が出にくい長寿命タイプの作動油です。スーパーハイランドSEは、優れた摩耗防止性能を発揮するだけでなくショック荷重にも耐える焼付防止性能も十分備えています。

●特 長

1. 省エネルギー性が優れている

スーパーハイランドSEは、摩擦調整剤の配合により摩擦特性に優れ、油圧ポンプ、バルブやアクチュエーター内の摩擦抵抗を低減することにより、従来の油圧作動油に比べ油圧システムの消費電力量の低減を図ることが可能です。

2. 酸化安定性・熱安定性が優れている

スーパーハイランドSEは、高度精製基油と新しいタイプの無灰系添加剤を使用することによりスラッジの生成が極めて少なく、高温高圧下での長時間の使用に耐えられるため更油間隔が長くなります。

3. 潤滑性が優れている

スーパーハイランドSEは、その優れた摩耗防止性能により、最近の高圧・高性能化した油圧装置で油圧ポンプやバルブの摩耗を防ぎ、装置の性能を十分に発揮させます。

4. 粘度指数が高く、流動点が低い

スーパーハイランドSEは、粘度指数が高いため、温度による粘度変化が小さく、広い温度範囲でいつも円滑な作動が得られます。

5. せん断安定性が優れている

スーパーハイランドSEは、非常に優れたせん断

安定性を備えていますので、長時間の使用に対して粘度低下をほとんど起こしません。

●種 類

油圧機器に使用する作動油の適性粘度は油圧ポンプの形式や使用条件などによって異なります。油圧ポンプのメーカーが指定した粘度の作動油をお選びください。

スーパーハイランドSEには粘度の低いものから、高いものまで粘度によって5種類の品種をそろえていますので、使用条件に適した粘度のものを選ぶことができます。

●用 途

鍛圧機械、金属加工機械、射出成形機、押出機、工作機械、建設機械、船舶甲板機械、荷役機械、鉱山機械など、低圧から高圧まで各種油圧機械すべてに使用できます。

●荷 姿

200lドラム、20lペール缶

●スーパーハイランドSEの代表性状

種 類	22	32	46	56	68
色 (ASTM)	L0.5	L0.5	L0.5	L0.5	L0.5
密度 (15℃) g/cm ³	0.838	0.842	0.848	0.861	0.868
動 粘 度 (40℃) mm ² /s	21.8	32.2	46.0	55.7	68.2
(100℃) mm ² /s	4.64	6.05	7.53	8.42	9.37
粘 度 指 数	133	137	129	126	115
引 火 点 (COC) ℃	216	250	260	262	264
流 動 点 ℃	-35	-32.5	-30	-27.5	-27.5
酸 価 mgKOH/g	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
銅 板 腐 食 (100℃, 3h)	1	1	1	1	1
さび止め性 (人工海水, 24h)	さびなし	さびなし	さびなし	さびなし	さびなし
消防法危険物分類	第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ				

※粘度グレード56は、ISO粘度グレードに規定のない特殊グレードです。

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2006年7月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

注意	●目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護眼鏡を使用する等目に入らないようにして下さい。 ●皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護手袋を使用する等皮膚に触れないようにして下さい。 ●飲まないで下さい（飲むと下痢、嘔吐します）。 ●子供の手の届かない所に置いて下さい。 ●使用に際しては、事前に当該油種の「製品安全データシート」（MSDS）を参照して下さい。「製品安全データシート」については商品購入先にご用命願います。
応 急 処 置	●目に入った場合は、清浄な水で十分に洗い、医師の診断を受けて下さい。 ●皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗って下さい。 ●飲み込んだ場合は、無理に吐き出さずに、直ちに医師の診断を受けて下さい。
廃 油 ・ 廃 容 器 の 処 置	●空容器に圧力をかけないで下さい。圧力をかけると破裂することがあります。 ●容器は溶接、加熱、穴あけまたは切断しないで下さい。爆発を伴って残留物が発火することがあります。 ●処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理して下さい。 不明な場合は購入先にご相談のうえ処理して下さい。
保 管 方 法	ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して下さい。 直射日光を避け、暗所に保管して下さい。